

力強く、前へ…

令和7年6月16日

「あいさつNo.1」の学校を目指して！

あいさつは、人と人とを結ぶコミュニケーションの大切な第一歩です。今年度の美園小重点事項である「自他を認め、大切にする心の育成」に向けても、互いに気持ちの良いあいさつをすることは、とても重要です。

話は少し変わりますが、市内の全小中学校は、「コミュニティ・スクール」となっています。コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会委員で、学校運営について協議・検討する学校運営協議会制度」を導入した学校です。コミュニティ・スクールは、地域とともにある学校づくりや学校を核とした地域づくりに効果的であるとされています。

6月4日(水)、第1回学校運営協議会において、「自他を認め、大切にする心の育成」を図るために、「美園小をあいさつNo.1の学校にしよう」という目標を掲げ、学校、保護者、地域が一体となってあいさつを励行しよう」という意見が出されました。学校付近の道路を「あいさつ道路」と称して取り組む、といった具体的なアイデアも出ました。

校内では、昨年以上にあいさつが活発になるように、児童会本部や代表委員会の児童たちが、熱心に活動し始めています。保護者の皆様にも、ご理解ご協力いただき、あいさつの輪をもっともっと広げていきたいと思ひます。よろしくお祈ひします！



英語教育の充実 英語村活動

館林市では、英語教育の充実を図っています。美園小学校でも、英語専科である服部先生やALTのニコール先生が中心となって、英語教育の充実を図っています。

英語の授業を行うのはもちろんのことですが、「英語村」と称し、ニコール先生が休み時間に子どもたちと遊びながら、英語でコミュニケーションをとっています。ニコール先生はとても明るく、活発な先生です。そんなニコール先生と英語で会話できることで、子どもたちとニコール先生もとても笑顔が輝いています。こうした活動を通して、自然と英語で会話する子が増えることを期待しています。

言うまでもなく、日本でもこれからますます国際化は進みます。そうした国際社会の中でも、たくましく歩むことができるように成長してほしいです。



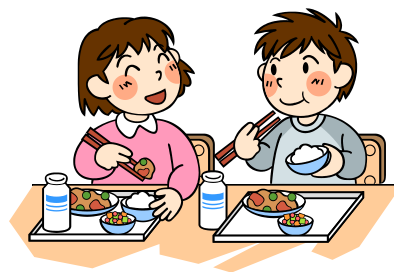
食育の推進

毎年、学校給食センターの栄養士さんによる「バランスの良い食事の仕方」や「食べ物の栄養素」などについて学ぶ「食育」指導が行われています。右の写真は、3年生の食育授業の様子です。

「炭水化物、タンパク質、脂肪のそれぞれが含まれる食品は何なのか」、「お肉には、どんな栄養が含まれているのか」、「それぞれの栄養素をバランス良く食べることが大切」など、食育の学習を通して、様々なことを学びます。

子どもたちは、毎日給食をととても楽しみにしています。子どもたちに人気のあるメニューは、カレーやビビンバ、若鶏のマリネといったところでしょうか。そうした人気のメニューでは、多くの子が残さずたくさん食べています。一方、野菜はどうしても残してしまう子が多いようです。教室では、担任が「苦手なメニューでもひと口食べてみよう」と勧めている様子を見かけることもあります。

毎日の食事が、10年後、20年後の自分の体をつくります。子どもたちが正しい食事の仕方、バランスの良い食事の仕方を理解し、今から実践できることが健康な体をつくります。そのためには、家庭との連携が必要です。バランスの良い食事について、ご家庭でもご協力をお願いします。



保護者ボランティアのご協力 ありがとうございます



1年生の給食の配膳、2年生の学校給食センター見学の引率、5年生の田植え体験の補助など、今年度も保護者の方々に様々な場面でボランティアとしてご協力いただいております。そうした保護者の皆様のご協力により、安全・安心な教育活動が推進できていることに、本当に感謝いたします。

これから、学校では水泳の授業が始まります。2学期になると、運動会をはじめとするたくさんの行事があります。そうした機会にも、保護者の皆様にご協力いただくことがあると思います。その都度、H & Sにて連絡させていただきます。ご都合のつく方につきましては、ぜひボランティアにご協力ください。
よろしくお願いします。

